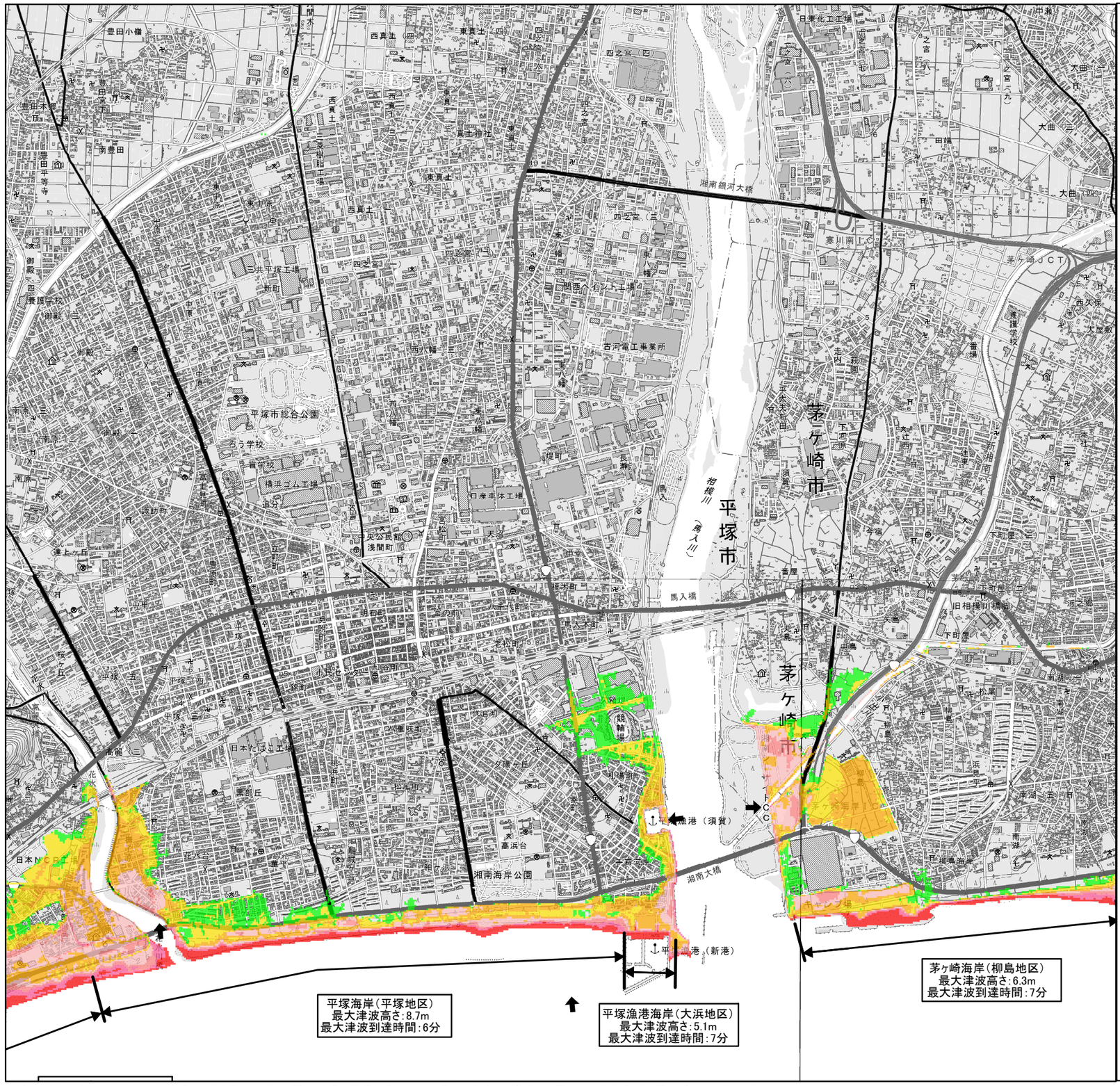
津波浸水予測図(案)　元禄関東地震タイプ

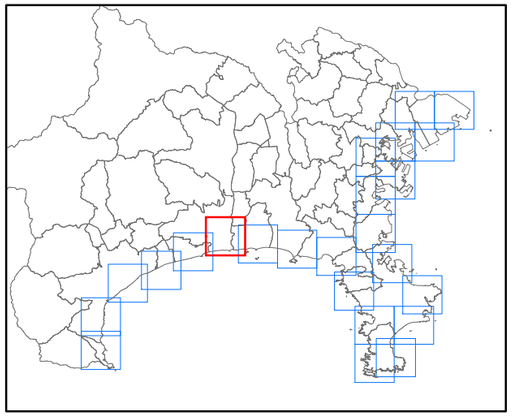
1:25,000
0　250　500　1,000　1,500 m



【位置図】

作図範囲：
範囲に該当する市町

茅ヶ崎市
平塚市
大磯町



【留意事項】

○予測にあたっては、浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）が最大となるよう、最も厳しい条件を想定しています。

○しかしながら、予測計算で再現し切れない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があることなどから、「津波浸水予測図」における浸水域以外でも浸水が発生したり、浸水深が大きくなったりする場合もあります。

○「津波浸水予測図」に示した最大の浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降の津波によって生じる場合があります。

○「津波浸水予測図」では、河川内については、津波による水位変化を着色していませんが、津波の遡上等に伴い、実際には水位が変化することがあります。

【用語の解説】

浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ

【凡　例】

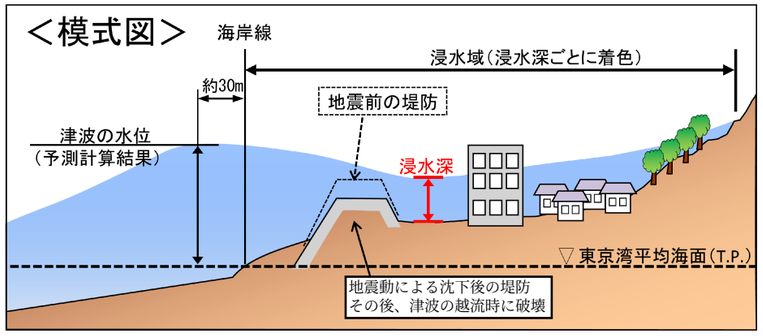
浸水深
- 0m～0.3m
- 0.3m～1.0m
- 1.0m～2.0m
- 2.0m～3.0m
- 3.0m～4.0m
- 4.0m～5.0m
- 5.0m～10.0m
- 10.0m～20.0m
- 20.0m～

下記の表示は各区間の最大津波高さと、その到達時間を示しています。

なお、この表示は、平成24年3月の「津波浸水予測図」と対比できるよう、同じ箇所に示しています。

➡：津波が来る方向を表しています。

○○海岸（○○地区）
最大津波高さ：○m
最大津波到達時間：○分



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　平26情使、　第530号）